

交通死亡事故ゼロ二千日記念入賞作文

交通事故

月潟小学校四年 野沢 尚

ぼくが、はじめて事故を見たのは、ようち園の時でした。事故のげんいんは、とびだして、バスからつや君がとびおりに、すぐとびだして...

二つの目あて

月潟小学校四年 金子 圭 輔

ぼくは、交通事故をふせぐためにがんばることが二つあります。一つめは、自転車乗りで合図をわすれずすることです。...

一時でいいしで事故をふせごう

月潟小学校四年 柴山 智 臣

ぼくは、小学三年生のときテレビのニュースを見ているとかならず一回は、交通事故というこぼを聞きます。...

あともう一つは、自転車乗りです。ぼくは時々一時で止のあいずをわすれることがあります。...

時も、だれかが一時で止を忘れると、みんな「一時で止しなかつたや」と注意し合って気をつけています。...

『じごにっについて』

月潟小学校四年 三星 佳 代

わたしは、月潟村に、交通事故で死ぬ人がいない日が、二千日つづいたことが、とてもうれいす。...

『祝二千日、三千日を目指せ』

月潟小学校五年 加藤 賢

とえば、後や、左右をかくにんしてから動いてほしいと思います。それに、ちゅうざいさんからお話を聞いたときに、ちゅうざいさんが言われてい

あわててにげました。それは、むこう側へ行こうとして、むちゅうだつた時のことです。ぼくのクラスの幸君は、ほんとうに車にひかれました。これは、人から聞いた話ですが犬をよけようとしてひかれたということ。たぶん、このことも、犬をよけるのにむちゅうだつたんだと思います。だから、ぼくは、ポスターの題を「ゆだん大敵、事故のもと」ということにしました。

ぼくは、月潟村が死亡事故がなく二千日たつたから、先生が、「村から二千日達成のことを祝って、ポスターと作文を書いてください」とお願いがきました。ぼくは「やだなあ」と思いました。みんなも口々に言いました。その日の宿題は、ポスターの内ようを考えてくるということでした。ぼくは家に帰って、お母さんと考えていました。考えているうちに、いやだった、ポスター作りがすきになってきました。...

ぼくは、今までの経験をもとに題を作ろうとしました。そして、考えて特に多かったのを題にしようと思いましたが、それは、ついうっかり、左右を確認しないで横断することです。一回やったら、くせになつてしまいました。「めんどうくさいなあ」とか「たぶん車がこないだろう」と思つて、やっているうちに、こんどは、ほんとうに車が来てしまひ、クラクションをならされてしまいました。ぼくは、

